

令和5年10月31日

横浜市立吉原小学校

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

今年の4月に、全国の6年生児童を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果をもとに、本校の状況についてお知らせいたします。

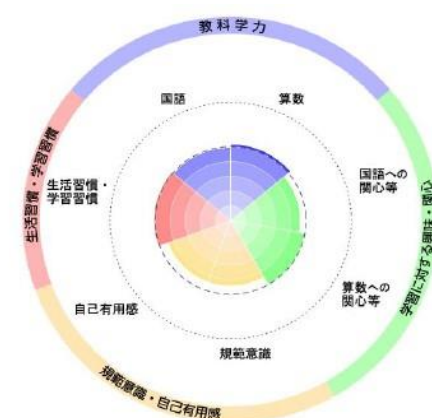
<全国学力・学習状況調査の目的>

- (1) 全国の小中学校児童生徒の学習状況について、分析的・総合的に把握し、教育施策に活用するとともに、児童生徒の学力向上などに生かす。
- (2) 各学校においては、自校の一人ひとりの学習状況をとらえ、教科指導や教育評価の改善及び、個に応じた指導の充実などに生かす。
- (3) 児童生徒においては、学力向上のために自らの学習状況をとらえ、学習の改善などに生かす。

<本校の教科別学習状況調査結果>平均正答率(%)

	国語	算数
吉原小	66	63
神奈川県(公立)	66	63
全国(公立)	67.2	62.5

[児童生徒] 児童質問紙(全国基準)



<調査結果をふまえて>

本校の平均正答率は、国語・算数ともに神奈川県の平均と同じであり、全国平均と比べると、国語はやや下回り、算数はやや上回っていました。

国語では、観点別に見ると「知識及び技能」の「情報の扱い方に関する事項」が全国平均を上回っていました。一方、「思考力・判断力・表現力等」の「書くこと」は全国平均を下回っていました。自分の考えや意見を文章に表していく学習活動を、引き続きどの教科でも取り組んでいきます。

算数では、「数と計算」「変化と関係」が全国平均を上回り、算数に関する質問で「算数の勉強が好き」「算数の授業の内容はよくわかる」と答えている児童が多くいました。昨年度「子どもが学びを生かして広げ深める授業」をテーマに、算数の授業について職員で研修を行ってきた成果が表れていると思われます。

児童質問紙では、「将来の夢や目標を持っている」「友達関係に満足している」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広めたり、広げたりできている」と答えている児童が多くいました。これらのことから、友達との関わりを大事にし、自分の考えを安心して伝えたり、認め合ったりしながら目標に向かって自分を高めていることが伺えます。

これからも子供たちが意欲的に学習に取り組み、高めていけるよう、授業改善に取り組んでいきます。